

ときめき

鹿島

2014.11  
秋号  
49号

Beating Kashima

ポラリス

★ポラリス(北極星)を目指すには北極星を見分けること。目指すところ(方向)は一線でもやり方はそれぞれ多種多様。一人一人の思いをエッセイの形で伝えたい。

## 古瀬所長のポラリス 防災の日に思う

在宅サービス部部長代理  
通所リハビリ所長 古瀬 奈保子

今年の夏は気象庁が11年ぶりの冷夏と発表しました。最近ではないことに8月上旬に台風11号、12号が続けてやってきました。これが各地に大雨をもたらしました。その後も広島県では大規模な土砂災害が発生し多くの方がお亡くなりになったり行方不明になりました。集中豪雨もこれだけ続くと異常気象というよりこれが普通と考えたほうがよさそうですね。

テレビでもおなじみの気象予報士がこんなことを言っています。

昔から天気にはクセというものがあるそうです。どういうわけか、台風が立て続けに同じ地点に上陸したり、晴れが続いていると雨が降りそうな気圧配置でも雨が降らずに晴れが勝ったりするそうです。また、今年の夏の豪雨は日本海側に多く発生しているようです。(例外もあります)

私は通所で仕事をしていますので送迎の度に天気が気になります。朝は良くても夕方降ることがたびたびありましたのでカッパや傘が手放せません。まだ当分天候不順が続きそうなので頭を悩ませそうですね。

ところで、9月1日は防災の日でした。全国的に9月1日と3月11日は防災グッズがよく売れるそうです。私も今年ばかりはそろそろ買わないといけないと思い少し調べてみました。いくつか紹介しますと、

○電源電池不要の多機能ライト(携帯電話の充電も手回しで可能、LEDライト、ラジオやサイレンの機能付き)○食品加熱袋と加熱剤(加熱袋に発熱材と水を入れて20分でほかほかの食品が完成)○簡易トイレ○アルミブランケット(冬は防寒、夏は防暑対策)等々非常持ち出し袋の重さも5kg(以前は10~15kg)のものが出ています。女性やお年寄りでも持ち運びが楽なのがいくつも出回っています。

備えあればうれいなし。日頃から避難経路や連絡方法の確認、備蓄などにも気を配り防災意識を高めましょう。

防災訓練中



## 基本理念

私たちは、仁愛の心をもって「医療と介護サービス」を提供し、地域に貢献します。

## 基本方針

1. 鹿島病院を中心に地域と連携して、良質な慢性期医療を確立します。
2. 患者様・利用者様の人権を尊重し、思いやりとつくしみの心で接します。
3. 技術や知識向上のため、たゆまぬ努力を行ないます。

## 行動指針

1. Safety …安全を最優先します。
2. Speedy …変化に能動的に挑戦します。
3. Service …おもてなしの精神で接します。

## 医療法人財団公仁会中期ビジョン2013

## 中期ビジョン2013

## 慢性期医療の確立

## 1. 病院機能

- (1)慢性期医療の推進
- (2)回復期リハビリテーションの推進と積極的拡充
- (3)特殊疾患、回復期、療養病棟の再編成の検討
- (4)医療療養病床平均在院日数135日を目指す
- (5)後発医薬品の使用促進

## 2. 在宅サービス機能

- (1)在宅サービスの質の向上
- (2)医療、介護関係機関との連携強化
- (3)在宅サービスの評価・検討・組織力強化

## 3. 医療安全対策の推進

- (1)感染防止対策の活性化  
専門的知識のレベルアップ
- (2)医療安全対策の活性化(医療安全、医薬品、医療機器)  
専門的知識のレベルアップ

## 4. 地域連携 及び 地域貢献

- (1)急性期及び介護保険施設の支援病院としての機能強化
- (2)地域の診療所との連携
- (3)患者退院後の地域連携の確立
- (4)予防医療や介護技術を地域へ普及

## 5. 高齢者や障害者を意識した施設・設備・環境の整備

## 6. 凝結的な医療サービスの質の改善への取組み

- (1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動
- (2)臨床指標(Clinical Indicator)の検討・活用
- (3)患者満足度向上の組織的取組み
- (4)診療録・看護記録等の質の向上

## 7. エコロジーへの取組み

## 8. 人材の育成

- (1)福西教育体系の構築
- (2)専門的知識を有するスタッフの育成
- (3)人事評価体系の構築

## 9. 電子カルテシステムの評価、改善

## 10. リスクの軽減とリスクへの備え

- (1)組織的なリスクの再評価、再検討
- (2)新型インフルエンザ対策
- (3)原子力災害への対応

## 患者様・利用者様の権利宣言

平成21年10月1日改正

## 1. 個人の尊厳

患者様・利用者様は、ひとりの人間として、その人格・価値観などを尊重されます。患者様・利用者様ご自身が意思表示や意思決定できない場合は、ご本人の尊厳を最優先にご家族と当部署のスタッフでよく話し合い決定していきます。

## 2. 平等で最善の医療と介護サービスを受ける権利

患者様・利用者様は、平等で安全に配慮された最善の医療・介護サービスを受ける権利があります。

## 3. インフォームド・コンセントと自己決定権

患者様・利用者様は、医療と介護サービスに関することについて、わかりやすい言葉や方法で説明を受け、その内容を十分に理解した上で選択・同意し、適切な医療・介護サービスを受ける権利があります。

また医師から提案された医療・介護サービスに同意できない場合は、拒否することもできます。拒否することで不利益をこうむることはありません。その選択にあたっては、他の医療・介護サービス機関の意見を聴く(セカンドオピニオン)ことができます。

## 4. 情報に関する権利

患者様・利用者様は、当該施設で行われたご自身の医療・介護サービスに関する情報の提供を受ける権利があります。

## 5. プライバシー及び個人情報情報の保護

患者様・利用者様は、私的な生活を可能な限り他人に侵されない権利があります。医療・介護サービスの過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳守され、患者様・利用者様の承諾なしには開示されません。

## 鹿島病院臨床倫理の方針

平成22年1月1日制定  
(平成22年1月5日・鹿島会承認)

1. 患者様の人権を尊重するとともに、患者様と医療従事者が協力して公正かつ公平な医療を提供します。

2. 患者様ご自身が意思決定できない場合は、ご家族と十分に話し合い治療方針等を決定します。

3. 研発期治療方針は、医学的に安否で適切な医療を患者様・ご家族の同意の上、多職種によるタッグチームで決定します。

4. 患者様の利益や倫理観を尊重した医療を提供します。

5. 臨床研究は、倫理的審査を行った上で患者様・ご家族の同意に基づき実施します。

## 島根県慢性期医療協会設立!



常務理事  
事務部長 下瀬 宏

11月1日(土)小鯖理事長念願の島根県慢性期医療協会が設立されました。正会員が島根県下の病院・医院20事業所、賛助会員が7事業所でのスタートとなりました。当日は、設立総会、設立記念講演会(島根県在宅医療推進事業協賛)、懇親会が開催されました。

設立総会には、日本慢性期医療協会武久洋三会長、島根県知事代理健康福祉部牧野由美子医療統括監、島根県医師会小村明弘会長、国際医療福祉大学特任教授(元厚生労働大臣)坂口力様をお招きし、皆様から暖かい祝辞を頂きました。設立記念講演会には病院関係者、島根県、松江地域の医師、ケアマネの皆様等140名もの出席を頂き「地域における慢性期医療」と題して武久洋三様より今後の医療の在り方や慢性期病院の方向性をお示し頂きました。設立に尽力された小鯖理事長が病気療養中で出席出来なかったのが残念

でしたが、これを期に会員の皆様と一致協力して慢性期医療の発展と質の向上に努めて参りたいと思います。



設立記念講演会講師 武久洋三先生



# 鹿島伝

## リハビリテーション伝説 vol.11

リハビリテーション部 部長  
**田野 俊平**



リハビリテーション部  
**松浦 祐治**



回復期リハ病棟としても増床が完了しては半年が経ち、4月に入職してきた新人セラピスト5名も慣れ始め、頼みそうな気を引き締めないといけない時期(私は頼みっぱなしですが)です。新人たちも気づいている?ことでしょうか。どの職種も忙しさがさらに増しているように感じる今日この頃ですが、病棟職員が願っていた新たな浴室も完成しました(やっと)。病棟は涙を流して喜びました(たぶん)。

さて、毎週恒例ですが、回復期リハ病棟の26年度上期は25年度と比較すると骨折などの整形疾患が占める割合が多くなり、6割を超える状況となりました。治療成績(下図)としては平均年齢(+2.5歳)や重症者割合(+3.7%)の上昇から高齢・重症化、発症~入院までの期間(-4.16日)の短縮により地域連携の強化がより図れているように読み取れます。またFIMの改善度(-1.42)や改善率(-0.01)はやや減少となってしまいましたが、日常生活機能評価(-0.56)はやや改善、機能改善入院日数(-5.34日)の短縮となりました。高齢・重症化の波が押し寄せてくるように感じますが、さらなる機能改善や在宅復帰を目指してがんばっていきます。

平均年齢	発症から入院までの期間(平均)	入院判定会議から入院までの期間(平均)	平均在床日数
83.58歳	25.73日	7.84日	76.68日
入院時FIM(平均)	退院時FIM(平均)	FIM改善度	FIM効率
66.97点	85.08点	18.11点	0.26
入院時日常生活機能評価(平均)	退院時日常生活機能評価(平均)	新規入院患者重症者割合	
8.46点	4.05点	40.1%	
重症患者の日常生活機能評価4点以上改善割合	在宅復帰率		
58.6%	87.8%		



歯科衛生士

**中村 みどり**



「第5回オールジャパンケアコンテスト」が10月18日(土)米子コンベンションセンターで開催されアドバイザーとして参加しました。

このコンテストは、競い合う事を目的とするものではなく、参加者の自己研鑽やケアの技術を高め、あう事はもちろん利用者やご家族・地域の方と絆を深め、介護を支える土壌を育む事が目的です。

「認知症」「食事」「着取り」「口腔ケア」「排泄」「入浴」の6分野で経験年数による2部門(A部門:5年以上、B部門:5年未満)に分かれて行われ、全国から119名の介護従事者が選手として集い、日頃の培ったケア技術を課題に応じ披露しました。

私は、口腔ケアA部門で、その実技に対して専門のアドバイザーとして助言・審査するという役割でした。7分間で課題に沿った介護技術を、あの緊張する場であれだけ対応出来るのなら、普段の仕事の中ではそれ以上の事は出来ているのだという事を肌身を感じて分かりました。上位者を決定する決め手となったのは「基本的な介護技術」がどれだけ丁寧に確実にできているかでした。

今回、コンテストにアドバイザーとして参加できたことは、多角的に物事を見て捉える、あらためて自身の成長にも繋がったと思います。



## NST勉強会

10月のNST勉強会は「排便コントロールについて」業者の方より講義して頂きました。排便障害の原因として、食事、運動不足、薬剤、ストレス、消化管の動きなど多岐に渡ります。アセスメントのないまま下剤を使用するのはとても危険と言えるでしょう。継続的に排便状態を記録しアセスメントすることで原因への対応が可能になります。排便ケアの重要性和日ごろのケアを考える良い機会となり、今後の業務に生かしていきたいです。



NST習診の様子



# つうしょテラス



黒はつかりに  
なるわよ!

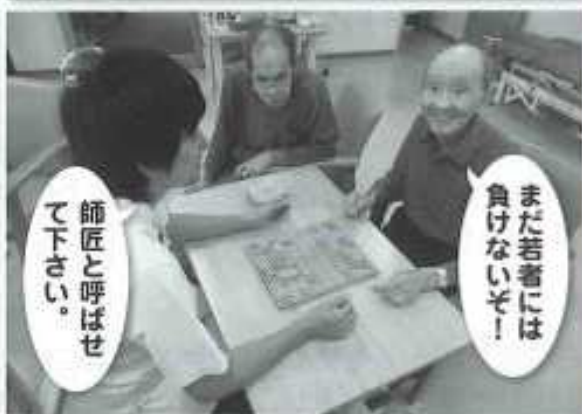


上手に  
できたわ!



手ごわいですね

楽しいですわ。  
もう一番!



師匠と呼ばせ  
て下さい。

まだ若者には  
負けないぞ!

訓練(リハビリ)を忘れた本気の勝負

## 「敬老の日」



皆様に心ばかりの贈り物を(ハンカチ・くつ下)させて頂きました。



## お楽しみ献立

- 赤飯
- 鯛のすまし汁
- カレイの  
ゆず味噌焼き
- ナスの揚げびたし
- 春菊の和え物
- 黒蜜ゼリー



## お知らせ

通所利用を希望される方がいらっしゃればご紹介下さい。  
また、ご利用中の方々の追加・臨時利用や振替利用もお気軽にご相談ください。  
(通所リハビリ 所長)

# 健康コーナー 豆知識

## 介護の ここがツボ?!

看護部  
川本弘信



病気や障害などのために自分自身の力で日常生活をおくるのが不自由になると、誰かの手助けを得て生活を続ける事になります。

病棟ではこのような方々の療養の手助けを、24時間行っています。

最近は療養の手助け・介護を家庭でも必要とすることが多くなってきました。

そんなときに役に立つかもしれないツボをいくつかお伝えしましょう。

### 爪切り

目がうすくなったり、細かい作業が苦手になると爪切りに苦労しますね。伸びたり、巻き爪だったりするともっと苦労します。そうなる前にこまめに爪切り。でも1~2回で切ると爪が割れたり先端がとがったりして危険。ひとつの爪を少しずつ4~5回にわけて切ると安全です。巻き爪や硬い爪は、切るのではなくやすりを使って短くするのもいいですね。

### 移動

動かない身体を布団やベッドの上で移動させるのは大仕事。身体の下にスライディングシートを敷きこんでからシート上の身体を引くと、少しの力で移動ができます。移動は転がる、滑らせる方法を使うと介護者の負担が減るとともに、本人も安心で楽です。

### 下着交換

いろいろな理由でトイレを使えない排泄は、気軽に紙オムツを利用してみましょう。各種発売されていますが、中でもパッド類を上手に使いこなせるといいですね。吸収量は少から多までさまざま。でも、漏れを恐れてパッドを何枚も重ねても吸収量は足し算にはなりません。ギャザーを立てたり当てる位置を工夫することで漏れを防いで快適に使うことができます。また、固形物があると水分は吸収できませんので吸収量を過信しないで交換しましょう。漏れる前に替えると交換の労力は軽減できますよ。



以上、少しですがお伝えしました。介護の負担を減らせるツボ、まだまだたくさんあると思います。発見したツボをぜひ教えてください。

川柳のコーナー  
吉岡花子

・水鳥の遊ぶ野池を見下して  
十一面観音静けく在らず

・指を出しグーチヨキバアの体操も  
上手に出来たよりズムが早い

・八十路なる友集集いて食事会  
語る言葉は心の支え



こころやん

## コーナー 私のパパママだ〜れ?



★ そうじ 葛志君



★ ひろ 清ちゃん



★ ひまり 尚美ちゃん



★ こころ 輝希君  
かずき 和希君

## 看護体験に来られた生徒さんからお手紙を頂きました

松江東高校 三成ゆりあ さん

私はこの看護体験を通して様々な事を学ぶ事ができました。鹿島病院では慢性期の患者さんの療養をなさっているのが高齢者の方が多くおられました。午前中の看護体験では私の担当してくれた看護師さんにやさしくいろいろな事を教えてもらいました。患者さんにも関わらせてもらっている中で私が大事だと感じた事は大声でしゃべる事だと思いました。患者さんと意思疎通するためにはまず話す事は大事だし、笑顔で話せば患者さんも笑顔になってくれてとても嬉しかったです。偶然看護師体験をするのが私一人だけで学生時代にこの様な良い経験はなかなかなくとも良い経験になりました。私が将来看護師になれば体験で学ばせてもらった笑顔の大切さや地域の方々との交流、患者さんとの会話の大切さを心にとめてこれから看護師になれるように頑張っていきたいです。体験させていただいた中で関わった患者さんや看護師さん本当にありがとうございました。貴重な経験が出来てとても嬉しかったし看護師になりたい気持ちももっと強くなりました。

鹿島中学校 中島 美柚 さん

この3日間、本当にいろいろな事を学ぶ事ができて良かったです!!とても良い経験になりました。

最初、私が鹿島病院を選んだのは、私のおばさんが介護士の仕事をやっていて、「この仕事は大変だけど、とてもやりがいのある仕事だよ」と言っていたので鹿島病院にしました。最初は本当に緊張していて、とまどっていました。でも、やっているうちに、本当にこの仕事はやりがいがあるなぁと思いました。患者さんとのコミュニケーションや、酒所のリハビリセンターでのゲームや会話もとてもおもしろく、なにより心が溢りました。

それに医療の事もとても分かって良かったです。血液検査の仕方や、心電図や点滴にもいろいろある事なども分かりましたし、ふだんあまりふれる事のない様な機械にもふれられてめちゃ良かったです!!本当に良い体験をさせてもらってありがとうございました。

鹿島中学校 山崎 杏実 さん

私は、鹿島病院で職場体験をして最初は不安な気持ちでいっぱいでした。でも、いろいろな先生たちに教わって、本当に勉強になりました。私が一番大変だなと思ったことは介護です。シーツ交換や、患者さんの向きを変えてあげたり、食べ物を食べさせてあげたり、すごく大変でした。看護師さんなどがこういう介護をしないとイケないので私は看護師になりたいと思っていますので今回こういう体験ができて本当にうれしかったです。それから患者さんとおしゃべりやゲームをしたり、本当に楽しかったです。私が一番うれしかったことは、自分が笑顔でいると、患者さんも笑顔になってくれたことです。それから、患者さんとお話をしていたときに、みなさんが本当に笑顔で大声で笑っていらっやして、私がみなさんからパワーを逆にもらいました。ありがとうございました。これから、私も勉強をがんばって看護の仕事につけるようがんばります。今回はありがとうございました。

鹿島中学校 内村 愛海 さん

この3日間、自分の知らなかった世界をたくさん見てきました。1つの病院で様々な職種の方々とお出合、話を聞いて、おしゃべりをして、本当に刺激的な3日間を過ごしました。1日1日いろいろなところへ行き、そこで働いている方々やその役割など、どれも同じところもあれば、そうでないところもたくさんあって医療現場の奥の深さを実感しました。

この体験の中でたくさんの患者様、デイサービスをご利用なさっている方々とも、たくさんお話させていただき、とても新鮮で、すごく緊張しましたが楽しい時間を過ごすことができ、本当に幸せでした。

この体験を通して学んだことをいかし、自分の将来に向けて考え、更に学んでいけるよう日々精進していきたいと思います。

3日間、お世話になった方々に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。この体験を大切にこれからも頑張ります。

鹿島中学校 片寄末莉瑛 さん

今回鹿島病院に2日間という短い時間でしたが体験させていただいて、とても勉強になり楽しく学ぶことができました。

1日目は、この病院はどういう所かや正しい手の洗い方、ベットシーツのしき方など、教えていただきました。手の洗い方は、きちんと洗うことで、菌が広がることやうつることがないと聞きこれからやっていきたいと思います。

2日目は、主に利用者様と一緒に話をしたり、簡単なゲームで遊んだりしましたが、皆さんすごく元気で笑顔で楽しそうにやっていて私もとても楽しい気持ちになりました。

体が思うように動かせなくても表情豊かに過ごしておられたので、笑顔を忘れないでこれからも元氣なあいさつをしていこうと思います。

この2日間で、たくさんの事を教えていただき、将来この病院のように良い職場で一生懸命、働きたいと思います。



中学生職場体験の様子

## 漫画コーナー

### とんだお客様



この話はノンフィクションです。

# お知らせコーナー

## 人事のお知らせ

### 〇入館

看護部

**藤井 誠**

- ①サイクリング・写真
- ②自転車・お酒

●8月より2階病棟で勤務させていただいています。これまでの経験で培ってきた知識や技術を生かして患者様個々に対し最善の看護が提供できるようさらにスキルアップしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



看護部

**内田 文代**

- ①映画鑑賞・旅行
- ②愛犬と過ごすこと

●8月より勤務させていただく事になりました。不慣れな事も多いですが頑張っていきたいです。よろしくお願いします。



在宅サービス部  
訪問看護

**廣富 善文**

- ①剣道・ボクシング・スケート
- ②映画鑑賞・DVD

感動する物が好きです。

●病棟勤務にずっと携わってきたので今回訪問看護は初めての経験で解らない事が多いですが、皆様と一緒に働ける様に1つ1つ覚えて行きますので今後とも宜しくお願いします。



### 〇昇進 看護部課長

リハビリテーション部リハビリテーション科主任 **若槻 知穂**

清水 二三代 (看護部課長代理)

(リハビリテーション部リハビリテーション科)

### 〇退館 リハビリテーション部リハビリテーション科 **辰巳 裕美**

## 私のパパママは～れ? 答え

★ 蒼志君のパパ・ママ



リハ部  
山崎 大治さん



リハ部  
山崎 幸子さん

★ 晴ちゃんの  
パパ



リハ部  
森山 晴人さん

★ 向葉ちゃんの  
パパ



看護部  
曾我 伸也さん

★ 唯希君・唯希君のパパ・ママ



リハ部  
板垣 陽介さん



看護部  
板垣 晶子さん

# 公仁会事業報告 6・7・8月

報告期間 6月～8月

リハビリ数

## 鹿島病院

### ①外来部門

6月～8月の平均(診療日数68日)	1日平均人数
延べ来院患者数	969人
	14.3人/日

### ②病棟部門

#### ②-1 特殊疾患病棟 (2F)

6月～8月の平均(月日数92日)	平均在院日数
延入患者数	5,484人
	59.6人/日
リハビリ実施患者数	15,322人
	25.2人/日
リハビリ実施数	2,836単位
	26.7単位/日

#### ②-2 回復期リハビリテーション病棟 (3F)

延入患者数	4,602人
	50.0人/日
転院患者数	12,780単位
	136.7単位/日
運動量	15,144単位
	164.6単位/日
呼吸器リハビリ	1,341単位
	14.6単位/日

#### ②-3 医療療養病棟 (4F)

延入患者数	5,441人
	59.1人/日
転院患者数	1,046単位
	11.4単位/日
運動量	306単位
	3.3単位/日
呼吸器リハビリ	432単位
	4.7単位/日

#### ②-4 短期入所療養介護

ショートステイ利用患者数	27人
	0.3人/日

## 在宅サービス部

### ①通所リハビリ “やまゆり”

(稼働日数78日)	1日平均利用患者数
通所リハビリ利用者数	2,432人
	31.2人/日
初診患者数	38単位
	5.0単位/日
転院患者数	126単位
	1.6単位/日
個別リハビリ実施数	2,090単位
	26.8単位/日

### ②鹿島病院 デイサービスセンター

(稼働日数78日)	1日平均利用者数
通所介護利用者数	1,902人
	24.4人/日

### ③訪問看護 “いつくしみ”

(稼働日数82日)	1日平均利用者数
訪問看護利用者数(医師)	329人
	6.3人/日
訪問看護利用者数(看護師)	793人
	12.9人/日
訪問看護利用者数(理学療法士)	182人
	2.9人/日

### ④鹿島病院 やまゆり居宅介護 支援事業所

(稼働日数64日)	1日平均利用者数
延べケアプラン作成数	420人
	14.0人/日
居宅介護支援ケアプラン数	45人
	1.5人/日

## 職員数

職 種	職員数(名)
病 科	5人
調 剤 科	2人
P T	20人
O T	19人
S T	5人
看護部職員数	82人
臨床検査技師	2人
診療放射線技師	1人
社会福祉士	5人
介護支援専門員	6人
臨床心理士	71人
高 級 士	2人
管理栄養士	4人
調 理 員	11人
事務職員	15人
合 計	250人

2011.11現在



地域連携室便り 41

地域包括ケアを進める上での現実的な課題  
～地域の医師とケアマネジャーとの関係をめくって～

鹿島病院は平成25年から3年間、「島根県在宅医療連携推進事業」の連携拠点病院となっています。鹿島病院が軸となり、地域の各機関と相談しながら、地域の高齢者医療・介護の設計図を作り、実際に試行してくださいという事業です。昨年は介護支援専門員協会、医師会、訪問看護、松江市などの代表の方々に集まってお互いの立場で地域の課題についてご意見を聴かせていただきました。会議ではケアマネジャーが在宅医療で担う役割がとて大きいといった話題が多くの方から出されました。

そこで、かかりつけ医とケアマネジャーとの関係を中心にお互いの日ごろの悩み、疑問などを話し合うという目的で、7月31日に、松江市総合福祉センターで、「第1回在宅医療について多職種で語ろう会」を開きました。今回の参加者は、橋北地域の黒田会(黒田町界隈で開業されている先生方の集まり)を中心に、その地域のケアマネジャー、鹿島病院、島根大学の杉崎先生らなど、計48名の方々が



活発な意見が交わされましたが、とりわけ興味深かったのは、お互いに対する意識、連絡のあり方、担当者会議のこと、ケアマネジャーの仕事に関することです。

お互いに対する意識

ケアマネジャーから医師	医師からケアマネジャー
・医師の忙しさの考慮、医師への恐れから面談を避けようとしている。	・顔を見せないケアマネジャーに不信を抱いている。

話し合い後  
ケアマネの過度の遠慮は禁物で、お互いに顔を合わせることが信頼構築の第一歩

医療相談部  
小林 裕恵



お互いの連絡について

ケアマネジャーから医師	医師からケアマネジャー
・医師との連絡に面談ではなく、FAXや電話を使うのは、医師の忙しさを考慮してのことである。	・FAX通信ばかりでは、十分に情報が伝わらない。

話し合い後  
医師はケアマネジャーの配慮を理解しケアマネジャーは医師が面談を重視していることを理解

担当者会議への意識

ケアマネジャーから医師	医師からケアマネジャー
・多忙な医師は、担当者会議に参加したくないと考えている。	・多忙な中であっても何とかケアマネや関係者と顔を合わせて話ができる時間をつくりたい。

話し合い後  
ケアマネジャーは医師が参加を重視していることを理解する。医師も参加した包括ケアチームを作る必要性を高めて認識

ケアマネジャーの仕事について

ケアマネジャーから医師	医師からケアマネジャー
・医師はケアマネの仕事に関心を持っているとは思っていなかった。	・ケアマネについての知識や理解が不十分であり、もっと知る必要があるとおもっている。

話し合い後  
ケアマネジャーの仕事は、地域医療にとって重要であるという医師とケアマネジャーの共通認識が得られた。

あるケアマネジャーの方は、「先生方の意見も、私達の悩みと共通するところがあると感じました。主治医の先生方とケアマネジャーとがざっくばらんに意見交換できたことで、本音で話す事ができ、心の中のモヤモヤが晴れた気がしました。この会を継続することで、さらに関係は深まり、連携は強くなると思います。お互いの顔と顔が見える連携づくり、チームづくりを進めていけば、その人がより快適に生活できるようになります。きっと、その人の生活を支える地域づくりができると期待しています。」との感想をくださいました。

ところで、この取り組みの中心には鹿島病院はいません。鹿島病院は、両者の連携がうまく行くように陰で支えているのです。このように、地域のさまざまなアクター間に対してコミュニケーションの場を提供するという役割が、慢性期病院にはあるのではないのでしょうか。これは「地域の医療・介護の土台となって、地域連携に貢献する」ということを意味します。こういった活動は、今後より重要になるような気がします。

# ときめき広場



## 島根県作業療法士会主催の 展示会で入選しました。

リハ部 星野 千晴

先日、9月27・28日に開催された島根県作業療法士会主催の展示会に、鹿島病院からリハビリの中で作成した3点の手工芸を出展いたしました。その中のひとつ、「手工芸のツリー」という作品が見事に入選しました。ご協力頂いた患者様、スタッフに感謝申し上げます。



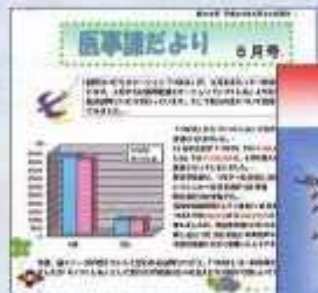
## 院内活動紹介

### 医事課だよりの歴史館

### ～100号までの道のり～

医事課では、院内向けの情報発信誌として「医事課だより」の発行を続けています。多職種での情報共有を目的に毎月発行錯誤して取り組んでいます。H17年

5月に第1号の発行から9年半継続 H26年9月でついに、第100号を発行する事ができました！！



### 編集後記

10月18日に原子力防災訓練を行いました。緊張しましたが、無事終了しました。「ときめき鹿島49号」も無事発行でき、ほっとしています。



訓練の様子

■編集：中村、高田、松岡、佐藤、佐藤、佐藤  
 発行人：中村 隆之介  
 発行所：島根県立鹿島病院 医事課 〒690-0002 島根県松江市鹿島町1-1  
 e-mail: kashima@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/  
 電話：0854-21-1111 FAX: 0854-21-1111  
 印刷：島根県立鹿島病院印刷センター TEL: 0854-21-1111 FAX: 0854-21-1111  
 印刷：島根県立鹿島病院印刷センター TEL: 0854-21-1111 FAX: 0854-21-1111  
 印刷：島根県立鹿島病院印刷センター TEL: 0854-21-1111 FAX: 0854-21-1111